

令和07年度 事務事業評価

令和07年度 事務事業評価									
指標の年度実績	Do 2	490人	令和08年度の改善の取り組み	Action 4	令和09年度以降の事業の方向性と資源の配分				
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 100年の森づくりビジョン及びエコツーリズム推進全体構想に基づき事業を推進した。 いきものの生息に配慮した森林づくり推進においては、独自の森林認証にかかる費用や業務量を考えた持続的な仕組みづくりが課題である。 鈴鹿10座の保全・活用においては、山域により登山道の浸食が依然として進んでおり、継続的に保全するための財源と人材不足が課題である。		<改善内容> 独自の森林認証制度の試行実施を行い、制度の検証を行う。 鈴鹿10座の保全・活用については、登山道のモニタリングを実施し、より自然にやさしく持続可能な登山道整備手法の研究を行う。さらには、ガイド以外にも保全活動に協力を得られる仕組みを検討する。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容
					現状維持		☐ 財源 拡大 現状 削減		
					見直して継続				
					拡大				
					縮小				
					事業統合		☐ 人員 拡大 現状 削減		
					手段見直				
休止・廃止									
完了									

令和07年度 事務事業評価

○ 施策 :02森里川湖の次世代への継承

指 標 名	自然と関わる人の割合	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	125
指標の目標値	61.3%	目標年（ 令和11年度 ）	算出方法	○ 継続	ハード	担 当 課 名	森と水政策課
関係法令 市 条 例 等	八日市いきものふれあいの里条例及び施行規則、にぎわい里山づくり条例及び施行規則、東近江市布引の森条例及び施行規則、緑の募金による森林整備等の推進に関する法律、緑の少年団育成強化事業助成金交付要綱、自然環境及び生物多様性の保全に関する条例及び施行規則			東近江市環境基本計画		作 成 者	小西 茂喜
事務事業概要	森里川湖の豊かな地域資源を保全・活用することを通じて、人と人、人と自然のつながりを醸成し、子どもをはじめとした次世代を担う市民の育ちを豊かにします。			関連計画		予 算	会 計 名 一般会計 大 事 業 コード 030000 款 項 目 020113

令和07年度 事務事業実績					令和08年度 実施計画											
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和07年度				令和08年度				令和09年度				令和10年度			
	1 河辺いきものの森等の保全と活用 ・森林環境学習「やまのこ」など子ども等の環境教育の実施や自然体験の機会を提供				1 河辺いきものの森等の保全と活用 ・森林環境学習「やまのこ」など子ども等の環境教育の実施や自然体験の機会を提供				1 河辺いきものの森等の保全と活用 ・森林環境学習「やまのこ」など子ども等の環境教育の実施や自然体験の機会を提供				1 河辺いきものの森等の保全と活用 ・森林環境学習「やまのこ」など子ども等の環境教育の実施や自然体験の機会を提供			
	2 河辺いきものの森等施設の維持管理 ・河辺いきものの森、河辺の森駅、布引の森の維持管理				2 河辺いきものの森等施設の維持管理 ・河辺いきものの森、河辺の森駅、布引の森の維持管理				2 河辺いきものの森等施設の維持管理 ・河辺いきものの森、河辺の森駅、布引の森の維持管理、河辺林冠トレイル老朽修繕				2 河辺いきものの森等施設の維持管理 ・河辺いきものの森、河辺の森駅、布引の森の維持管理			
	3 森に人が集まる場所づくり事業（里山保育） ・認定こども園等付近の里山等で自然体験（19園で実施）				3 森に人が集まる場所づくり事業（里山保育） ・認定こども園等付近の里山等で自然体験（21園で実施予定）				3 森に人が集まる場所づくり事業（里山保育） ・認定こども園等付近の里山等で自然体験				3 森に人が集まる場所づくり事業（里山保育） ・認定こども園等付近の里山等で自然体験			
	4 にぎわい里山づくり事業 ・里山保全活動を行う団体を支援する				4 にぎわい里山づくり事業 ・里山保全活動を行う団体を支援する				4 にぎわい里山づくり事業 ・里山保全活動を行う団体を支援する				4 にぎわい里山づくり事業 ・里山保全活動を行う団体を支援する			
	5 緑化の推進等 ・婚姻届・出生届を出された方に記念樹「あゆみの樹」をプレゼント ・自治会・個人・事業所に花いっぱい運動等による緑化の推進 ・保護樹木・保護樹林の指定				5 緑化の推進等 ・婚姻届・出生届を出された方に記念樹「あゆみの樹」をプレゼント ・自治会・個人・事業所に花いっぱい運動等による緑化の推進 ・保護樹木・保護樹林の指定				5 緑化の推進等 ・婚姻届・出生届を出された方に記念樹「あゆみの樹」をプレゼント ・自治会・個人・事業所に花いっぱい運動等による緑化の推進 ・保護樹木・保護樹林の指定				5 緑化の推進等 ・婚姻届・出生届を出された方に記念樹「あゆみの樹」をプレゼント ・自治会・個人・事業所に花いっぱい運動等による緑化の推進 ・保護樹木・保護樹林の指定			
	6 森里川湖体験事業 ・森里川湖3DAYキャンプ等の実施				6 森里川湖体験事業 ・森里川湖3DAYキャンプ等の実施				6 森里川湖体験事業 ・森里川湖体験事業				6 森里川湖体験事業 ・森里川湖体験事業			
指標の年度目標値		50.7%			59.1%		59.85%			60.6%						
事業の優先度		A			B											
事業の財源		決算額 50,112千円		国庫支出金		0千円		予算額 54,329千円		国庫支出金		0千円				
				県支出金		7,404千円				県支出金		7,326千円				
				市債		0千円				市債		0千円				
				その他		30,787千円				その他		26,659千円				
				一般財源		11,921千円				一般財源		20,344千円				
職員数/人件費		正	4.6人	会計任	2.76人	40,112千円		正	4.73人	会計任	2.76人	44,130千円				

方向性

令和07年度 事務事業評価												
指標の年度実績		Do 2	60.4%		令和08年度の改善の取り組み		Action 4	令和09年度以降の事業の方向性と資源の配分				
事務事業の改善内容 Check 3			<成果・課題> 河辺いきものの森の団体利用（やまのこ、モリイコ、学校等）は例年どおり受け入れることができた。開園20年以上経過し、老朽化への対策が必要である。 布引の森は、環境教育の場として各種団体受入や里山をいかした多様なプログラムを実施した。 里山保育は市民団体との協働で19園を対象に実施した。全園実施に向けた実施手法の検討が必要である。森里川湖体験事業は、小学生に対して、地域資源をいかした多様な体験の場を提供した。		<改善内容> 河辺いきものの森は、現在の森の樹木調査と今後のビジョンについて検討を進める。また、河辺いきものの森と布引の森は相互に連携を図り、良質な環境教育の提供や自然環境をいかした魅力的なプログラムを展開する。 里山保育においては、実施園を拡大するため保育士等への研修などを実施するとともに、里山保全の必要性について引き続き啓発を行う。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容	
							現状維持		財源 拡大 現状 削減		令和9年度 河辺いきものの森林冠トレイルの修繕に伴う事業費の増 令和9年度以降 里山保育実施園の拡大による事業費の増	
							見直しして継続					
							拡大 縮小 事業統合 手段見直し					
							休止・廃止					
							完了					

令和07年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	136, 120kw (R7. 12現在)	令和08年度の改善の取り組み	Action 4	令和09年度以降の事業の方向性と資源の配分					
事務事業の改善内容 Check 3			<成果・課題> 環境学習拠点施設として関係機関に対し環境学習プログラムを実施した。 BDFの使用が依然として限定的であるため、BDFと廃食油の利用拡大への取組が必要である。	<改善内容> 引き続き教育委員会やコミュニティセンターなどに効果的な環境学習の場を提供するため、事業の周知と学習プログラムの検討を行う。 BDF精製業者とも連携しながら、利用拡大のための施策を検討する。 もみがらくん炭の地域内活用とクレジット化の推進を図る。	事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容	
					現状維持		☐ 財源 拡大 現状 削減	☐ 人員 拡大 現状 削減		
					見直して継続					
					拡大 縮小 事業統合 手段見直					
					休止・廃止					
					完了					

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和08年度 実施計画

◆

令和07年度 事務事業評価

○基本目標 :04快適な生活環境が整った安全・安心なまち	指標名	再生可能エネルギー発電設備導入容量	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	206
○基本的政策 :02豊かな自然を未来につなげるまちづくり	指標の目標値	160,000kW	目標年（令和11年度）	算出方法		○継続	担当課名	森と水政策課
	関係法令市条例等	地球温暖化対策の推進に関する法律、東近江市環境にやさしい暮らし普及促進奨励金支給要綱					作成者	小西 茂喜
○施策 :04カーボンニュートラルの推進		地球温暖化対策を推進するため、「地球温暖化対策実行計画」を策定し、市が率先して取組を進めるとともに、低炭素型ライフスタイルの変革を促すよう身近な取組を通じた市民啓発を行います。			関連計画	東近江市環境基本計画、東近江市次世代エネルギーパーク構想	予会計名	一般会計
事務事業名							大事業コード	070000
地球温暖化対策・再生可能エネルギー促進事業	事務事業概要						款項目	020113

令和07年度 事務事業実績					令和08年度 実施計画														
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和07年度				令和08年度				令和09年度				令和10年度						
	1 環境にやさしい暮らし普及促進事業 ・住宅用太陽光発電システム設置奨励金 7件 ・コージェネレーションシステム設置奨励金 1件 ・蓄電システム設置奨励金 51件 ・太陽熱温水器設置奨励金 2件 ・省エネ家電購入促進補助金 87件				1 環境にやさしい暮らし普及促進事業 ・住宅用太陽光発電システム設置奨励金 ・コージェネレーションシステム設置奨励金 ・蓄電システム設置奨励金 ・太陽熱温水器設置奨励金 ・省エネ家電購入促進補助金				1 環境にやさしい暮らし普及促進事業 ・住宅用太陽光発電システム設置奨励金 ・コージェネレーションシステム設置奨励金 ・蓄電システム設置奨励金 ・太陽熱温水器設置奨励金				1 環境にやさしい暮らし普及促進事業 ・住宅用太陽光発電システム設置奨励金 ・コージェネレーションシステム設置奨励金 ・蓄電システム設置奨励金 ・太陽熱温水器設置奨励金						
	2 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』 ・公共施設のエネルギー等使用量の見える化 ・環境に配慮した事業推進の啓発 ・東近江市地球温暖化対策実行計画の進捗管理				2 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』 ・公共施設のエネルギー等使用量の見える化 ・環境に配慮した事業推進の啓発 ・東近江市地球温暖化対策実行計画の進捗管理				2 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』 ・公共施設のエネルギー等使用量の見える化 ・環境に配慮した事業推進の啓発 ・東近江市地球温暖化対策実行計画の進捗管理				2 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』 ・公共施設のエネルギー等使用量の見える化 ・環境に配慮した事業推進の啓発 ・東近江市地球温暖化対策実行計画の進捗管理						
	3 地球温暖化防止活動の普及 ・電動アシスト自転車の活用推進 ・グリーン購入の推進				3 地球温暖化防止活動の普及 ・電動アシスト自転車の活用推進 ・グリーン購入の推進				3 地球温暖化防止活動の普及 ・電動アシスト自転車の活用推進 ・グリーン購入の推進				3 地球温暖化防止活動の普及 ・電動アシスト自転車の活用推進 ・グリーン購入の推進						
	指標の年度目標値 事業の優先度				140,000kW B				145,000kW B				150,000kW				155,000kW		
事業の財源	決算額 7,003千円		国庫支出金		3,000千円		予算額 15,546千円		国庫支出金		10,000千円								
			県支出金		0千円				県支出金		0千円								
			市債		0千円				市債		0千円								
			その他		0千円				その他		0千円								
			一般財源		4,003千円				一般財源		5,546千円								
職員数/人件費		正	0.84人	会計任	0.5人	7,363千円		正	0.88人	会計任	0人	6,087千円							

評価

改善

方向性

令和07年度 事務事業評価															
指標の年度実績		Do 2	136,120kw (R7.12現在)		令和08年度の改善の取り組み		Action 4	令和09年度以降の事業の方向性と資源の配分							
事務事業の改善内容 Check 3				<成果・課題> 環境にやさしい暮らし普及促進事業により再生可能エネルギー発電設備等の普及促進を図ることができた。 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』に全庁で取り組み、研修会や監査会等を通じて地球温暖化対策を推進した。目標値達成のため、DXによる二酸化炭素削減など、多角的な対策を検討する必要がある。		<改善内容> 再生可能エネルギーの導入や地球温暖化対策について情報収集を行い、地球温暖化対策実行計画への位置づけと本市における実施について検討する。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容			
								現状維持		財源					
								見直して継続		拡大					
								拡大		現状				○	
								縮小		削減					
								事業統合		人員					
								手段見直							
休止・廃止		拡大													
		現状		○											
完了		削減													

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和08年度 実施計画

◆

令和07年度 事務事業評価

○基本目標	:04快適な生活環境が整った安全・安心なまち	指 標 名	特定地域における浄化槽法定検査（法第11条）受検率	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	226	
○基本的政策	:03生活環境が守られたまちづくり	指標の目標値	92.9% 目標年（ 令和11年度 ）	算出方法		○ 継続	ハード	担 当 課 名	生活環境課	
○施策	:01し尿の適正処理	関係法令 市 条 例 等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法			関連計画	八日市ライフ組合 一般廃棄物処理基本計画、東近江市生活排水処理基本計画、東近江市一般廃棄物処理実施計画	作 成 者	田中 和則	
事務事業名	汚水処理対策事業	事務事業概要	快適で衛生的な生活を営むため、処理施設組合に負担金を支出し、し尿の適正処理と環境衛生の保全を図ります。					予 算	会 計 名	一般会計
									大事業コード	050000
							款 項 目	040201		

令和07年度 事務事業実績					令和08年度 実施計画																			
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和07年度				令和08年度				令和09年度				令和10年度											
	1 し尿及び浄化槽汚泥処理に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合				1 し尿及び浄化槽汚泥処理に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合				1 し尿及び浄化槽汚泥処理に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合				1 し尿及び浄化槽汚泥処理に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合											
	2 し尿・浄化槽汚泥収集 ・し尿収集（八日市布引ライフ組合） 3,208kℓ ・浄化槽汚泥（許可業者） 13,932kℓ				2 し尿・浄化槽汚泥収集 ・し尿収集（八日市布引ライフ組合） ・浄化槽汚泥（許可業者）				2 し尿・浄化槽汚泥収集 ・し尿収集（八日市布引ライフ組合） ・浄化槽汚泥（許可業者）				2 し尿・浄化槽汚泥収集 ・し尿収集（八日市布引ライフ組合） ・浄化槽汚泥（許可業者）											
	3 合併処理浄化槽設置等整備事業費補助金 ・住宅用合併処理浄化槽設置、更新への補助 新設 1基 更新 3基				3 合併処理浄化槽設置等整備事業費補助金 ・住宅用合併処理浄化槽設置、更新への補助				3 合併処理浄化槽設置等整備事業費補助金 ・住宅用合併処理浄化槽設置、更新への補助				3 合併処理浄化槽設置等整備事業費補助金 ・住宅用合併処理浄化槽設置、更新への補助											
	4 合併処理浄化槽維持管理費補助金 ・集落単位の合併処理浄化槽管理への補助 393件				4 合併処理浄化槽維持管理費補助金 ・集落単位の合併処理浄化槽管理への補助				4 合併処理浄化槽維持管理費補助金 ・集落単位の合併処理浄化槽管理への補助				4 合併処理浄化槽維持管理費補助金 ・集落単位の合併処理浄化槽管理への補助											
	5 合併浄化槽の法定検査受検率の向上				5 合併浄化槽の法定検査受検率の向上				5 合併浄化槽の法定検査受検率の向上				5 合併浄化槽の法定検査受検率の向上											
	6 浄化槽台帳の整備 ・上下水道情報に基づく排水確認 599件				6 浄化槽台帳の整備				6 浄化槽台帳の整備				6 浄化槽台帳の整備											
	7 浄化槽関連の届出の受理 設置3件				7 浄化槽関連の届出の受理				7 浄化槽関連の届出の受理				7 浄化槽関連の届出の受理											
指標の年度目標値					92.1%					92.3%					92.5%					92.7%				
事業の優先度					B					B														
事業の財源		決算額 288,551千円		国庫支出金		182千円		予算額 294,039千円		国庫支出金		1,298千円												
				県支出金		4,065千円				県支出金		5,348千円												
				市債		0千円				市債		0千円												
				その他		0千円				その他		0千円												
				一般財源		284,304千円				一般財源		287,393千円												
職員数/人件費		正		0.87人		会計任		0人		6,450千円		正		1.04人		会計任		0人		7,606千円				

評価

改善

方向性

令和07年度 事務事業評価															
指標の年度実績	Do 2	90.8%	令和08年度の改善の取り組み	Action 4	令和09年度以降の事業の方向性と資源の配分										
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 浄化槽台帳の正確性を高めるため、上下水道データが適合していない「排水不明」の箇所の確認作業を行った。 浄化槽台帳システムに今後必要となる保守点検及び清掃データを正確に入力できるように、保守点検業者及び清掃業者に対して各データを入手する方法を整備した。		<改善内容> 浄化槽法の改正が予想され、法定検査、保守点検や清掃の情報を浄化槽台帳システムへの入力作業において、効率よく行う必要がある。 また、浄化槽の適正管理につながるよう、啓発方法を検討し法定検査受検率を向上させる必要がある。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容						
					現状維持		財源	<table><tr><td>拡大</td><td></td></tr><tr><td>現状</td><td>○</td></tr><tr><td>削減</td><td></td></tr></table>		拡大		現状	○	削減	
					拡大										
					現状	○									
					削減										
					見直して継続										
					拡大										
					縮小										
					事業統合		人員	<table><tr><td>拡大</td><td></td></tr><tr><td>現状</td><td>○</td></tr><tr><td>削減</td><td></td></tr></table>		拡大		現状	○	削減	
					拡大										
現状	○														
削減															
手段見直															
休止・廃止															
完了															

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和08年度 実施計画

◆

令和07年度 事務事業評価

○基本目標 :04快適な生活環境が整った安全・安心なまち		指 標 名	公害苦情件数	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	441	
○基本的政策 :03生活環境が守られたまちづくり		指標の目標値	119件	目標年（ 令和11年度 ）	算出方法	○ 継続	○ ハード	担 当 課 名	生活環境課	
○施策 :02公害防止対策の推進		関係法令 市 条 例 等	東近江市の豊かな環境と風土づくり条例、東近江市民の生活環境保全及び公害防止に関する条例、騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法			関連計画	—	作 成 者	田中 和則	
事務事業名		事務事業概要	良好な生活環境を確保するため、「東近江市民の生活環境保全及び公害防止に関する条例」に基づき、河川や大気などの生活環境を調査し、事業者や市民への啓発を行います。					予 算	会 計 名	一般会計
環境調査事業								大事業コード	080000	
						款 項 目	020113			

令和07年度 事務事業実績					令和08年度 実施計画												
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和07年度				令和08年度				令和09年度				令和10年度				
	1 環境調査業務 ・河川水質調査 定期測定 40箇所 臨時測定 3箇所 PFAS測定 3箇所 2 公害発生源調査 ・事業所検査 悪臭調査 2回 3 騒音・振動規制法に基づく届出審査、受理 129件 4 工場の監視、パトロール、指導、対策 ・特定工場への合同立入調査 11事業所 5 自動車騒音の常時監視 11路線 52.8km 6 公害や生活環境の苦情に対する確認と対処 100件 7 鼠族、昆虫駆除 8 市公害防止条例に基づく届出の審査受理 93件 9 公害防止、緑地の確保等に関する協定の締結 新規締結 2事業所				1 環境調査業務 ・河川水質調査 2 公害発生源調査 ・事業所検査 3 騒音・振動規制法に基づく届出審査、受理 4 工場の監視、パトロール、指導、対策 ・特定工場への合同立入調査 5 自動車騒音の常時監視 6 公害や生活環境の苦情に対する確認と対処 7 鼠族、昆虫駆除 8 市公害防止条例に基づく届出の審査受理 9 公害防止、緑地の確保等に関する協定の締結				1 環境調査業務 ・河川水質調査 2 公害発生源調査 ・事業所検査 3 騒音・振動規制法に基づく届出審査、受理 4 工場の監視、パトロール、指導、対策 ・特定工場への合同立入調査 5 自動車騒音の常時監視 6 公害や生活環境の苦情に対する確認と対処 7 鼠族、昆虫駆除 8 市公害防止条例に基づく届出の審査受理 9 公害防止、緑地の確保等に関する協定の締結				1 環境調査業務 ・河川水質調査 2 公害発生源調査 ・事業所検査 3 騒音・振動規制法に基づく届出審査、受理 4 工場の監視、パトロール、指導、対策 ・特定工場への合同立入調査 5 自動車騒音の常時監視 6 公害や生活環境の苦情に対する確認と対処 7 鼠族、昆虫駆除 8 市公害防止条例に基づく届出の審査受理 9 公害防止、緑地の確保等に関する協定の締結				
	指標の年度目標値				128件				125件				122件				
	事業の優先度				B				B								
	事業の財源		決算額 25,269千円		国庫支出金		0千円		予算額 27,766千円		国庫支出金						0千円
県支出金					0千円		県支出金				0千円						
市債					0千円		市債				0千円						
その他					0千円		その他				0千円						
一般財源					25,269千円		一般財源				27,766千円						
職員数/人件費		正 1.33人 会計任 0人		9,094千円		正 1.17人 会計任 0人		8,087千円									

評価

改善

方向性

令和07年度 事務事業評価												
指標の年度実績		Do 2	100件		令和08年度の改善の取り組み	Action 4	令和09年度以降の事業の方向性と資源の配分					
事務事業の改善内容 Check 3			<成果・課題> 公害苦情に関し、原因者への指導により一定の効果があった。長期的な苦情案件の進展が課題である。		<改善内容> 苦情主及び原因者双方が、納得のいくような指導を行う。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容	
							現状維持		○	財源		
							見直して継続					
							拡大					
							縮小					
							事業統合					
							手段見直		人員			
休止・廃止		拡大										
完了		現状										
						削減						

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和08年度 実施計画

◆

令和07年度 事務事業評価

○基本目標	:04快適な生活環境が整った安全・安心なまち	指 標 名	市営墓地公園の新規利用申込者数	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	408	
○基本的政策	:03生活環境が守られたまちづくり	指標の目標値	18人	目標年（ 令和11年度 ）	算出方法	○ 継続	○ ハード	担 当 課 名	生活環境課	
		関 係 法 令	墓地・埋葬等に関する法律			関連計画		作 成 者	田中 和則	
		市 条 例 等							予 算	会 計 名
○施策		:03斎場・墓地の適正管理	火葬施設の管理運営をする組合に負担金を支出し、施設の適切な管理運営を図ります。					大事業コード		010000
事務事業名								款 項 目	040105	
斎場・墓地管理運営事業		事務事業概要								

令和07年度 事務事業実績					令和08年度 実施計画											
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和07年度				令和08年度				令和09年度				令和10年度			
	1 斎苑（火葬場）管理運営に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合				1 斎苑（火葬場）管理運営に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合				1 斎苑（火葬場）管理運営に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合				1 斎苑（火葬場）管理運営に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合			
	2 墓地の管理 ・布引山霊苑（全923区画）新規5件 ・能登川墓地公園（全720区画）新規4件				2 墓地の管理 ・布引山霊苑（全923区画） ・能登川墓地公園（全720区画）				2 墓地の管理 ・布引山霊苑（全923区画） ・能登川墓地公園（全720区画）				2 墓地の管理 ・布引山霊苑（全923区画） ・能登川墓地公園（全720区画）			
	3 公共事業等により移転又は設置した墓地の維持管理に関する支援 ・布引山霊苑一般墓地（峠墓地）				3 公共事業等により移転又は設置した墓地の維持管理に関する支援 ・布引山霊苑一般墓地（峠墓地）				3 公共事業等により移転又は設置した墓地の維持管理に関する支援 ・布引山霊苑一般墓地（峠墓地）				3 公共事業等により移転又は設置した墓地の維持管理に関する支援 ・布引山霊苑一般墓地（峠墓地）			
	4 墓地等経営許可事務 経営許可4件				4 墓地等経営許可事務				4 墓地等経営許可事務				4 墓地等経営許可事務			
	第2次総合計画における成果指標 「市営墓地の維持管理に係る改善要望件数」															
指標の年度目標値		10件			12人					14人		16人				
事業の優先度		－			－											
事業の財源	決算額 66,987千円	国庫支出金		0千円		予算額 72,582千円	国庫支出金		0千円							
		県支出金		0千円			県支出金		0千円							
		市債		0千円			市債		0千円							
		その他		10,941千円			その他		11,455千円							
		一般財源		56,046千円			一般財源		61,127千円							
職員数/人件費		正	0.98人	会計任	0人	7,065千円		正	0.97人	会計任	0人	6,733千円				

評価

改善

方向性

令和07年度 事務事業評価														
指標の年度実績		Do 2	9件		令和08年度の改善の取り組み		Action 4	令和09年度以降の事業の方向性と資源の配分						
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 市営墓地敷地内の修繕を行い、適正な維持管理を行った。 未承継の墓地利用者については、追跡調査を行い、承継を促すとともに、返還のあった墓地は再募集により墓地需要に応えた。 市内の寺院にある「寺墓」に納骨するため、墓地経営許可を行った。				<改善内容> 市営墓地の適正な維持管理を行い、未承継墓地の承継を促しながら、返還のあった区画について、利用者の再募集を行う。 焼骨収蔵届の啓発を行い、未提出の抑制につながる方法を検討する。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容			
							現状維持		○	財源				
							見直して継続			拡大				
							拡大			現状			○	
							縮小			削減				
							事業統合			人員				
							手段見直			拡大				
							休止・廃止			現状			○	
完了			削減											

～まちづくりの森を育てよう～

令和08年度 実施計画

令和07年度 事務事業評価

○基本目標 :04快適な生活環境が整った安全・安心なまち

○基本的政策 :03生活環境が守られたまちづくり

○ 施策 : 04 畜犬の適正管理

事務事業名

狂犬病予防事業

指 標 名	狂犬病予防注射接種率	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	453	
指標の目標値	61.4%	目標年（ 令和11年度 ）	算出方法	○ 継続	ハード	担 当 課 名	生活環境課	
関 係 法 令 市 条 例 等	狂犬病予防法、滋賀県動物の保護及び管理に関する条例			関連計画	—	作 成 者	田中 和則	
事務事業概要	狂犬病の発生を予防するため、犬の登録と予防注射を行います。また、正しい犬の飼い方等について、飼い主へ啓発し、糞害の防止等を図ります。					予 算	会 計 名	一般会計
							大事業コード	020000
							款 項 目	040105

令和07年度 事務事業実績

令和08年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和07年度					令和08年度					令和09年度					令和10年度							
	1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 新規登録 449件 ・狂犬病予防注射実施 集合注射 544件 個別注射 3,504件 計 4,048件					1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 ・狂犬病予防注射実施 ・次期畜犬管理システムの検討					1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 ・狂犬病予防注射実施 ・畜犬管理システムの更新					1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 ・狂犬病予防注射実施							
	2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布 23件					2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布					2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布					2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布							
	Plan 1																						
	Do 2																						
指標の年度目標値	57.4%					58.4%					59.4%					60.4%							
事業の優先度	B					B																	
事業の財源	決算額	2,644千円		国庫支出金		0千円		予算額		国庫支出金											0千円		
				県支出金		0千円		県支出金		0千円													
				市債		0千円		市債		0千円													
				その他		2,430千円		その他		2,937千円													
				一般財源		214千円		一般財源		0千円													
職員数/人件費	正	1.44人	会計任	0.09人	9,331千円	正	1.32人	会計任	0.09人	8,585千円													

評価

改善

方向性

令和07年度 事務事業評価

指標の年度実績		Do 2	54.1%	令和08年度の改善の取り組み		Action 4	令和09年度以降の事業の方向性と資源の配分						
事務事業の改善内容 Check 3				<成果・課題> 犬の糞害に関する啓発として、自治会での看板設置の推奨、狂犬病予防集合注射会場で啓発看板を設置し周知を行った。 犬の新規登録、死亡届に関してオンライン申請の受付を実施した。 狂犬病予防注射接種率を更に向上する必要がある。		<改善内容> 犬の飼養方法に関する苦情に対し、県動物保護管理センターと連携し啓発指導を行う。 オンライン申請による手続きを拡充し利用者の利便性を向上させる。 犬の死亡届の啓発を適宜行い、更なる台帳整備を行うことで狂犬病予防注射接種率の向上を図る。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容	
								現状維持		財源			
								見直して継続					
								拡大			拡大		
								縮小			現状		
								事業統合		削減			
								手段見直		人員			
休止・廃止				拡大									
完了				現状		○							
				削減									

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和08年度 実施計画

◆

令和07年度 事務事業評価

○基本目標 :04快適な生活環境が整った安全・安心なまち		指 標 名	市民一人当たりのごみ量	指 標	成果指標一覧のとおり	新規	○ ソフト	事務事業コード	63		
○基本的政策 :01環境美化と資源循環意識の高いまちづくり		指標の目標値	760g/1日	目標年（ 令和11年度 ）	算出方法	○ 継続	ハード	担 当 課 名	資源再生推進課		
○施策 :02ごみの適正処理		関係法令 市 条 例 等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、東近江市ごみステーション設置補助金交付要綱、東近江市廃棄物の処理及び環境の美化に関する条例、東近江市一般廃棄物最終処分場条例、東近江市一般廃棄物処理手数料の免除に関する要綱			関連計画	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画、東近江市一般廃棄物処理実施計画、東近江市災害廃棄物処理計画	作 成 者		杉島 和仁	
事務事業名		事務事業概要	廃棄物が適正に処理できるよう、ごみ袋の販売やカレンダー・ガス抜き器具の配布、また分別収集や集団回収を実施します。					予 算	会 計 名	一般会計	
廃棄物処理対策事業									大事業コード	030000	
									款 項 目	040201	

令和07年度 事務事業実績					令和08年度 実施計画														
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和07年度				令和08年度				令和09年度				令和10年度						
	1 家庭ごみ等の収集 ・ごみ収集・運搬（委託・許可業者） ・粗大ごみの有料収集 1,067件 2,533点 ・危険物回収及び処理 0.73t				1 家庭ごみ等の収集 ・ごみ収集・運搬（委託・許可業者） ・粗大ごみの有料収集 ・危険物回収及び処理				1 家庭ごみ等の収集 ・ごみ収集・運搬（委託・許可業者） ・粗大ごみの有料収集 ・危険物回収及び処理				1 家庭ごみ等の収集 ・ごみ収集・運搬（委託・許可業者） ・粗大ごみの有料収集 ・危険物回収及び処理						
	2 ごみ処理関係品の作成・販売等 ・ごみ袋の販売 ・ごみカレンダーの作成				2 ごみ処理関係品の作成・販売等 ・ごみ袋の販売 ・ごみカレンダーの作成				2 ごみ処理関係品の作成・販売等 ・ごみ袋の販売 ・ごみカレンダーの作成				2 ごみ処理関係品の作成・販売等 ・ごみ袋の販売 ・ごみカレンダーの作成						
	3 犬猫等死骸処理 254件				3 犬猫等死骸処理				3 犬猫等死骸処理				3 犬猫等死骸処理						
	4 広域行政での事業推進に係る負担金 ・中部清掃組合 ・愛知郡広域行政組合				4 広域行政での事業推進に係る負担金 ・中部清掃組合 ・愛知郡広域行政組合				4 広域行政での事業推進に係る負担金 ・中部清掃組合 ・愛知郡広域行政組合				4 広域行政での事業推進に係る負担金 ・中部清掃組合 ・愛知郡広域行政組合						
	5 ごみステーション設置・修繕支援 新設 13件 修繕 10件				5 ごみステーション設置・修繕支援				5 ごみステーション設置・修繕支援				5 ごみステーション設置・修繕支援						
	6 最終処分場施設の維持管理 （五個荘日吉町） 65.6t				6 最終処分場施設の維持管理（五個荘日吉町）				6 最終処分場施設の維持管理（五個荘日吉町）				6 最終処分場施設の維持管理（五個荘日吉町）						
7 小型家電リサイクルの実施 回収量 10.6t				7 小型家電リサイクルの実施				7 小型家電リサイクルの実施				7 小型家電リサイクルの実施							
指標の年度目標値					780g/1日					760g/1日					760g/1日				
事業の優先度					A					A									
事業の財源		決算額 1,665,916千円		国庫支出金		0千円 <th colspan="2" rowspan="5">予算額 1,841,862千円</th> <th colspan="2">国庫支出金</th> <td colspan="2">0千円</td> <th colspan="2" rowspan="5"></th> <th colspan="2" rowspan="5"></th>		予算額 1,841,862千円		国庫支出金		0千円							
				県支出金		0千円				県支出金		0千円							
				市債		0千円				市債		0千円							
				その他		51,023千円				その他		66,031千円							
				一般財源		1,614,893千円				一般財源		1,775,831千円							
職員数/人件費		正	3.68人	会計任	0.85人	27,754千円 <th>正</th> <td>4.11人</td> <th>会計任</th> <td>0.75人</td> <td>29,876千円</td> <th colspan="4"></th>	正	4.11人	会計任	0.75人	29,876千円								

評価

改善

方向性

令和07年度 事務事業評価												
指標の年度実績 Do 2		765g/1日	令和08年度の改善の取り組み		Action 4	令和09年度以降の事業の方向性と資源の配分						
事務事業の改善内容 Check 3			<成果・課題>		<改善内容>		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容	
			市役所本庁・支所窓口において、カセットボンベやスプレー缶、使い捨てライター、リチウムイオン充電電池などの危険物等の回収を行い、家庭ごみ収集におけるごみ収集車の火災事故を防止した。ごみカレンダーなどで、危険物等の回収に関する丁寧な周知を行った。 災害発生時の廃棄物の処理等に関する体制整備について、さらに取組を強化していく必要がある。				現状維持		財源			
							見直しして継続		拡大 現状 削減			
							拡大					
							縮小					
							事業統合		人員			
							手段見直					
							休止・廃止		拡大 現状 削減			
完了												

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和08年度 実施計画

◆

令和07年度 事務事業評価

○基本目標 :04快適な生活環境が整った安全・安心なまち		指 標 名	ごみのリサイクル率		指 標	成果指標一覧のとおり		新規	○ ソフト	事務事業コード	2			
○基本的政策 :01環境美化と資源循環意識の高いまちづくり		指標の目標値	9.0%		目標年（ 令和11年度 ）		算出方法	○ 継続	○ ハード	担 当 課 名	資源再生推進課			
○施策 :03循環型社会の構築		関係法令 市 条 例 等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、東近江市生ごみ処理容器購入補助金交付要綱、東近江市リサイクル促進補助金交付要綱、東近江市廃棄物の処理及び環境の美化に関する条例					関連計画	一般廃棄物処理基本計画	作 成 者			杉島 和仁	
事務事業名		事務事業概要	ごみの減量化と循環型社会の構築をめざし、資源回収、生ごみ減量に対する取組を推進するとともに、市民の活動を支援します。							予 算	会 計 名		一般会計	
廃棄物減量化推進事業											大事業コード		040000	
										款 項 目		040201		

令和07年度 事務事業実績					令和08年度 実施計画																
主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和07年度				令和08年度				令和09年度				令和10年度								
	1 資源回収、資源分別活動の推進				1 資源回収、資源分別活動の推進				1 資源回収、資源分別活動の推進				1 資源回収、資源分別活動の推進								
	2 生ごみ減量化、堆肥化の推進 ・市内の先進的取組団体へ委託し、市民向け講習会及び研修会を実施 ・市民アドバイザーの養成 ・ダンボールコンポストの普及 講習会の開催 38回 ダンボールコンポストの販売 712個				2 生ごみ減量化、堆肥化の推進 ・市内の先進的取組団体へ委託し、市民向け講習会及び研修会を実施 ・ダンボールコンポストの普及				2 生ごみ減量化、堆肥化の推進 ・市内の先進的取組団体へ委託し、市民向け講習会及び研修会を実施 ・ダンボールコンポストの普及				2 生ごみ減量化、堆肥化の推進 ・市内の先進的取組団体へ委託し、市民向け講習会及び研修会を実施 ・ダンボールコンポストの普及								
	3 生ごみ処理容器購入に対する補助 46件				3 生ごみ処理容器購入に対する補助				3 生ごみ処理容器購入に対する補助				3 生ごみ処理容器購入に対する補助								
	4 古紙等の資源回収に対する補助 134件				4 古紙等の資源回収に対する補助				4 古紙等の資源回収に対する補助				4 古紙等の資源回収に対する補助								
	5 エコフリーマーケットの開催支援（開催中止）				5 エコフリーマーケットの開催支援				5 エコフリーマーケットの開催支援				5 エコフリーマーケットの開催支援								
	6 食品ロス削減の啓発				6 食品ロス削減の啓発				6 食品ロス削減の啓発				6 食品ロス削減の啓発								
	7 食品ロス削減推進計画策定の準備作業 ・市民意識調査 ・可燃ごみ袋内容物組成調査				7 食品ロス削減推進計画の策定				7 食品ロス削減推進計画の進捗管理				7 食品ロス削減推進計画の進捗管理								
					8 廃棄物減量等推進審議会				8 廃棄物減量等推進審議会				8 廃棄物減量等推進審議会								
指標の年度目標値					9.0%					9.0%					9.0%						
事業の優先度					B																
事業の財源		決算額		5,156千円		国庫支出金		0千円		4,452千円		国庫支出金		0千円							
						県支出金		620千円				県支出金		0千円							
						市債		0千円				市債		0千円							
						その他		0千円				その他		0千円							
						一般財源		4,536千円				一般財源		4,452千円							
職員数/人件費		正		2.2人		会計任		0.1人		15,355千円		正		2.73人		会計任		0.1人		19,181千円	

令和07年度 事務事業評価														
指標の年度実績 Do 2		6.9%	令和08年度の改善の取り組み		Action 4	令和09年度以降の事業の方向性と資源の配分								
事務事業の改善内容 Check 3			<成果・課題>		<改善内容>		事業の方向性		資源(財源・人)の配分		事業の方向性と資源の配分の内容			
			ごみ減量やリユース・リサイクルに関する取り組みとして、生ごみのたい肥化推進や、食品ロス削減に関連した市民意識調査及び可燃ごみ袋の組成調査を実施した。 また、使用済みパソコンや小型家電、家電4品目の自宅回収を行う国の認定事業者と協定を締結し、市民がリサイクルしやすい環境を整えた。 食品ロスアンケート及び組成調査の結果から、市民の関心は高いが、手付かず食品の廃棄も多くみられることから引き続き啓発を推進する必要がある。				現状維持		財源					
							見直しして継続		拡大 現状 削減				人員	
							拡大							
							縮小							
							事業統合		拡大 現状 削減				人員	
							手段見直							
							休止・廃止		拡大 現状 削減				人員	
							完了		拡大 現状 削減				人員	